

旧柏そごうを音楽の聖地化への提案

Proposal to turn the former Kashiwa Sogo into a sacred place for music

佐藤信治, ○ 柏木玲菜,

Shinji Sato, Rena Kashiwagi

Music has various effects on people, including psychological and physical healing. Not a few people may think that deaf people cannot enjoy music because they cannot hear sound. However, they can feel and enjoy sound through vibration. One of the major attractions of this type of music is that it can be enjoyed in a way that suits each person, regardless of generation, gender, or disability. The way music is received differs depending on the era. In contemporary Japan, the development of the Internet and SNS has made music more accessible, and it is becoming an indispensable part of daily life Kashiwa City in Chiba Prefecture has a strong impression of street music, but it is also known as one of the best brass band towns in Japan, and is promoting the appeal of music from various angles. Therefore, we aim to propose a proposal that uses the power of music to create a normalized city that many people can enjoy, thereby communicating the appeal of Kashiwa City.

1. はじめに

音楽は人に心理的、身体的癒しを与えてくれるなど様々な効果がある。聾者の人は音が聞こえないから音楽を楽しむことができないと思っている人も少なからずいるだろう。しかし、振動で音を感じ楽しむことができる。このように世代や性別、障害のあるなしに関わらず、人それぞれに合った楽しみ方ができることも大きな魅力の一つである。時代によって音楽の受け取られ方は異なる。現代の日本ではインターネットやSNSの発展によって音楽が身近なものになり、生活の中で必要不可欠な存在になりつつある。

千葉県柏市はストリートミュージックの印象が強いが、全国屈指の吹奏楽の街としても知られており、様々な角度から音楽の魅力を発信している。そこで音楽の力を利用し、多くの人を楽しめるノーマライゼーションな街づくりを行うことで柏市の魅力を発信していく提案を目指す。

2. 計画背景

2.1 柏駅と音楽

1990年代にサムシングエルスが有名となったことで柏駅のストリート音楽が有名になる。その後も、ナオトインティライミをはじめ数多くのアーティストが生まれている。2000年代初頭にはアンプによる音量合戦によって騒音トラブルがあり、2005年に独自のルールが生まれる。ルールの一つとして、ある一定の技量がないと演奏できないため、練習の場を設けると考える。

2.3 高齢化によるバリアフリー整備の必要性

近年では高齢化が社会的問題の一つであり、バリアフリー整備が必要不可欠である。日本でもよくこの言葉を耳にする機会が増えたが、半数以上の方は整備が進んでいないように感じている。すべての人が利用しやすい街づくりを提案するためにも新たに検討していく必要がある。

Figure 1. Street music and brass band performance at Kashiwa Station [1]



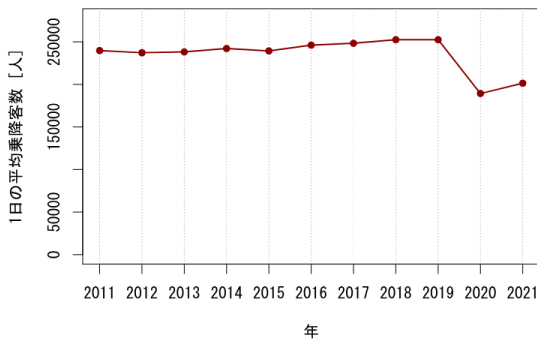
2.3 駅利用者の減少

コロナ禍によるリモートワークの増加によって、駅利用者が減少。現在は少しずつ回復傾向にあるものの以前に比べると少ない状態にあるのも確かである。実際に柏駅も2020年のコロナ禍には半数近くになっており、翌年には少しずつ回復しているものの、新たに来客数を増やす取り組みを考える必要がある。

1: 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.

2: 日大理工・院(前)・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.

Figure 2. Number of passengers at JR East Kashiwa Station [2]



3. 建築敷地

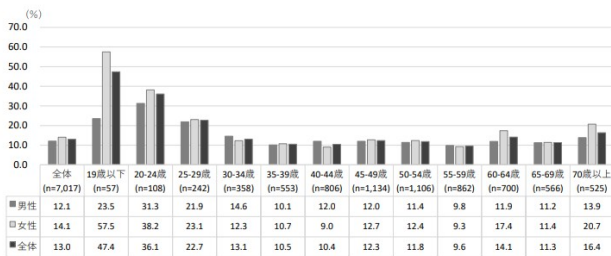
3.1 放置状態が続く商業施設

計画敷地は、千葉県柏駅東口柏そごう跡地。この場所は柏駅のシンボルだったが 2016 年に閉館し、2021 年には三井不動産が地権者を取得するも再開発されることはなく、2023 年 6 月に柏市が地権者の三井不動産から取得する意向を示した。

3.2 建物の老朽化

柏駅周辺では、1970 年代前半に駅周辺の再開発が行われたため、当時に建てられた施設は築 40~50 年経過しており、老朽化が目立つ。これに伴い街全体の高齢化が進んでいるものの、バリアフリー整備が行われていないため、若い人の利用者が多くを占める。

Figure 3. Usage rate around Kashiwa Station [3]



注：属性ごとの全回答者（柏市商圏外を含む）に対する、最もよく利用する施設・地域として柏駅周辺を選択した人の割合
 【例】・全回答者のうち 20~24 歳の女性：76 人
 ・上記のうち柏駅周辺を利用する 20~24 歳の女性：29 人
 ・割合：29 人 / 76 人 = 38.2%

4. 基本計画

4.1 導入施設

- 1) 音楽ホール
- 2) 音楽スタジオ
- 3) 宿泊施設
- 4) レストラン・カフェ
- 5) 体感型施設

4.2 音楽ホール

吹奏楽部の演奏をはじめ、ライブなどを行える場所を提案することで、地元の方々だけではなく外部から来てもらう機会を増やす。

4.2 音楽スタジオ

駅の広場では規則により練習する場所がないため、気兼ねなく練習できる場所を提供する。

4.3 宿泊施設

スタジオに練習しに来た人が、終電を気にすることなく練習に熱中することが可能。

4.4 レストラン・カフェ

施設利用者のみならず、音楽と融合したレストランを提案。

4.5 体感型施設

聾者の方々だけでなく、すべての人が平等に楽しむために音楽を振動を通して体感することのできる施設の提案。

4.6 全体計画

これらの音楽を基盤とした施設を提案していくことで、新たな柏駅のシンボルとなれるような総合的音楽施設を計画する。

5 参考文献

[1] ストリートミュージシャンの聖地・柏であり続けるために | 東葛毎日新聞社 (bunya.ne.jp)

柏 de 吹奏楽 PARTY♪! 2022 | 柏市役所 (kashiwa.lg.jp)

[2] 柏駅 (JR 東日本) の乗降客数の統計 (statresearch.jp)

[3] 平成 28 年度 (kashiwa.lg.jp)

[4] 「路上ライブを公認!」"柏ルール"に学ぶ 3 つの視点「路上ライブの聖地」と呼ばれた場所の取り組み | リーダーシップ・教養・資格・スキル | 東洋経済オンライン (toyokeizai.net)

[5] JR 柏駅東口再開発 促進なるか 柏市が旧そごう跡地取得へ 市長が表明 地権者の三井不動産から：東京新聞 TOKYO Web (tokyo-np.co.jp)